◆　第 74 期「自然科学書フェア 2025」視察報告　◆

第 74 期の「自然科学書フェア 2025」は、京都府京都市にある大垣書店イオンモール KYOTO 店様にて、2025 年 5 月 15 日（木）～7 月 6 日（日）までの約 2 か月間にわたる開催となりました。

同店舗は、JR 京都駅から徒歩数分のところに位置するショッピングモール「イオンモール」の東側 Kaede 館 2 階にあり、約 1,000 坪の広さがあります。京都駅はいうまでもなく、京都府内だけでなく、隣の大阪府や滋賀県からも多数の通勤・通学者が訪れ、また観光客も多数来店されているとのことです。同店舗でのフェアの開催は、2015 年に引き続き 2 回目となります。

フェア期間の中日に近い 6 月 10 日（火）、池田理事長、梅澤副理事長、吉野販売・出展委員長に、私・國分を加えた 4 名で視察訪問し、今回フェアを担当していただいた荻野様、店長の清水様、前店長（現 商品部部長）の伊藤様と面会しました。

（左より）伊藤前店長、清水店長、荻野様、池田理事長、吉野委員長、梅澤副理事長、國分幹事

フェア会場は、右側入口の正面かつレジ脇に位置するイベントスペースをお借りし、棚 15 本とフェア台 7 か所を使用して、46 社 1,666 点 3,529 冊の本を展開しました。なお、会場スペースが広いため、今回は無料出品点数を 40 点に増やし、各社に出品点数・冊数の増加にご協力いただきました。

売上げは、6 月 8 日時点での元棚も含めた数字で 375 冊、1,049,813 円とのことで、10 年前の同店舗でのフェアやここ数年のフェアに比べても非常によい成績を上げていただいております。また元棚で動きの良い書籍・分野はフェア会場でも動きが良いとのことでした。

来客層としては、担当者の予想以上に若い方――お子様連れのご夫婦や（モール前にある）予備校の学生など――が多く、フェア会場自体が専門書の棚とは対になる位置にあることもあって、新たな客層も呼び込めているようです。

今回のフェアでは、店舗様からの要望もあり、従来から変更した点や新たな試みがあります。

◎（フェアテーマとは別に）集客のためのキャッチコピーがほしいという要望をいただき、店

舗様と販売・出展委員との相談のもと、「好奇心は世界を変える！」「“知りたい”にチャレンジ」の二つを設定しました。ポスターやしおり、新聞広告、店舗のショウウィンドウ（後述）やデジタルサイネージ（後述）などに利用し、フェアへの訴求力を高めるように試みました。

◎新聞広告は、フェア開始直後の 5 月 18 日（日）に、京都新聞の読書面の下に 3 段で掲載しました。従来の書籍連合広告ではなく、（昨年のタウン紙と同じように）3 段を使ってフェアそのものの告知をする形としました。

◎従来「一押し」として各社から出品していただいたオススメ書籍について、選書基準が各社バラバラなことや、過去データから数字的にあまり貢献がみられないことなどから、今年は「わが社の 2024 年売上ベスト 1」として出品を募り、会場に特別コーナーを設けて 1 か所に集めるとともに、ショウウィンドウにも全点を（ランダムに）展示して、お客さまにアピールするようにしました（出品冊数を 1 冊ずつ増やしていただき、ありがとうございました>各社の担当者様）。一覧リストも作成して、会場で配布中です。

◎上述のように、今回は店舗の外側（モールの通路側）にある大型ショウウィンドウを利用して、フェアを告知する大型パネルを設置し、パネルの両脇に「わが社の 2024 年売上ベスト 1」の書籍を全点展示しました（写真参照）。モール外の 1 階の通行人の目にも留まるもので、ウィンドウに展示されている書籍を求められる方も多く、早い段階で店頭在庫分が売れてしまい補充した書籍もあるとのことです。

ショウウィンドウ（左：全景を収めるためパノラマ型に画像編集したもの、右：実際は平面です）

◎店舗様のご厚意で、5 月下旬からは会場にデジタルサイネージ（大型モニター）を設置し、「わが社の 2024 年売上ベスト 1」全書籍と、8 つの小テーマの出品書籍からテーマごとに各社 1 点ずつをピックアップして、1 枚の画像に 6～8 点並べ、それをスライドショー的に映像として流していただいております。モニターが入口すぐの場所にあるため、立ち止まってご覧になられる方も非常に多く、集客に一役買っているとのことでした。デジタルサイネージの設置は今後のフェアでも検討課題かと思います。

◎フェアへの集客をはかるイベントとして、地人書館様による著者ミニ講演会を会場脇のスペースで 6 月 8 日（日）と 6 月 15 日（日）に開催しました。6 月 8 日はテーマ「プラネタリウム 100 年！『天文手帳』50 年！今年の☆推し空☆話しま SHOW！」、6 月 15 日はテーマ「あなたの知らない『法獣医学』の世界」でした。6 月 8 日の講演会は盛況だったそうで、関連書籍の売上げも上がったとのことでした（6 月 15 日は本稿執筆時点で未開催）。また、同じくフェア関連行事として、店舗様のお声がけで、地元京都の科学普及支援団体「てんもんぶ」

による移動科学館（移動プラネタリウムやサイエンスショー、科学工作など。子どもゆめ基金助成活動）が６月７日（土）にイオンモール内イベントスペースにて開催されました。こちらもプラネタリウム整理券が開始５分でなくなるなど大盛況とのことで、集客につながっているとのことでした（好評だったので、秋にも開催を検討中とのこと）。

なお、担当者の荻野様には従前にも増してご尽力いただいており、荻野様手作りのカラー（ラミネート）しおりを購入者に配布していただいたり、また「わが社の 2024 年売上ベスト 1」書籍については、ショウウィンドウでは各書籍の簡単な内容紹介パネルを作成・設置、特別コーナーでは書籍ごとにポップを付けていただくなど、本来、販売・出展委員がするべき作業も行っていただき、感謝に堪えません。

荻野様からは、「残りの１か月弱、より売上げを上げるべく努力いたします」とのお言葉をいただきました。

なお視察終了後は、大垣書店の大垣社長をお迎えしてささやかな懇親会を開催し、店舗での棚のあり方などから出版界の今後まで、幅広く意見・情報交換をさせていただきました。

（販売・出展委員会 幹事　國分利幸：裳華房）

会場風景・視察の様子など

地人書館によるイベント
（大垣書店 Web ページより）

「てんもんぶ」によるイベント
（大垣書店 Web ページより）

荻野様手作りのしおり